



## 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月25日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7931 URL <http://www.mirai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 雅裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 中島 靖 TEL 0584-68-1200  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年3月21日～平成30年6月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	8,590	△0.4	750	△13.3	829	△8.6	484	△21.0
30年3月期第1四半期	8,624	10.0	865	38.9	907	49.0	613	128.9

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 537百万円 (△20.5%) 30年3月期第1四半期 675百万円 (181.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	20.92	—
30年3月期第1四半期	26.49	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	63,376	51,513	80.9
30年3月期	64,098	51,358	79.7

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 51,248百万円 30年3月期 51,109百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年3月21日～平成31年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,570	1.0	1,530	△23.2	1,574	△25.3	2,292	61.3	99.00
通期	35,486	0.9	3,590	△14.5	3,558	△16.3	3,566	21.8	154.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	25,607,086株	30年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	2,446,905株	30年3月期	2,447,967株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	23,159,961株	30年3月期1Q	23,158,222株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に個人消費に持ち直しの動きがみられるなど景気は緩やかな回復傾向で推移しました。

当社グループの事業関連である住宅建築業界では、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利などにより、分譲住宅の着工戸数が増加しているものの、持家・貸家の着工戸数が減少するなど、前年に引き続き概ね横ばいで推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは継続的な新製品の市場投入に加え、活発な営業活動を展開しましたが、売上高は85億90百万円と前年同四半期に比べ34百万円(0.4%)のわずかな減収となりました。利益につきましては、原材料単価の上昇等により、営業利益は7億50百万円と前年同四半期に比べ1億15百万円(13.3%)の減益、経常利益は8億29百万円と前年同四半期に比べ78百万円(8.6%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、4億84百万円と前年同四半期に比べ1億28百万円(21.0%)の減益となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

#### (電材及び管材)

電材につきましては、合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキSS」や硬質ビニル電線管「J管」とその附属品等が増加したものの、地中埋設管「ミラレックスF」とその附属品が減少しました。管材につきましては、給水給湯用樹脂管「ミラペックス」とその継手等が減少しました。その結果、売上高が65億84百万円と前年同四半期に比べ29百万円(0.4%)のわずかな減収となりました。営業利益は原材料単価の上昇等により6億55百万円と前年同四半期に比べ2億34百万円(26.3%)の減益となりました。

#### (配線器具)

配線器具につきましては、電材ルートへの活発な営業活動により「J-WIDE」等の配線器具が堅調に増加した結果、売上高が14億円と前年同四半期に比べ1億13百万円(8.8%)の増収となりました。営業利益は1億11百万円と前年同四半期に比べ24百万円(27.9%)の増益となりました。

#### (その他)

その他につきましては、「省力化機械及び樹脂成形用金型」や請負工事が減少した結果、売上高が6億6百万円と前年同四半期に比べ1億18百万円(16.4%)の減収となったものの、営業利益は1億25百万円と前年同四半期に比べ6百万円(5.4%)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて7億22百万円減少し、633億76百万円となりました。その主な要因は、法人税等の納付や従業員賞与の支払に伴い現金及び預金が9億46百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて8億76百万円減少し、118億62百万円となりました。その主な要因は、法人税等の納付により未払法人税等が7億50百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億54百万円増加し、515億13百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が1億円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月27日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,400	22,454
受取手形及び売掛金	10,250	9,926
有価証券	500	1,000
商品及び製品	3,714	3,742
原材料及び貯蔵品	1,126	1,260
繰延税金資産	487	314
その他	720	959
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	40,184	39,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,033	6,566
機械装置及び運搬具(純額)	2,852	2,727
土地	6,680	6,620
建設仮勘定	440	535
その他(純額)	451	492
有形固定資産合計	17,460	16,942
無形固定資産	607	564
投資その他の資産		
投資有価証券	2,020	2,076
繰延税金資産	552	553
再評価に係る繰延税金資産	413	413
退職給付に係る資産	503	524
長期預金	2,000	2,000
その他	540	842
貸倒引当金	△183	△182
投資その他の資産合計	5,847	6,227
固定資産合計	23,914	23,734
資産合計	64,098	63,376
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,594	5,627
短期借入金	87	115
1年内返済予定の長期借入金	348	462
未払法人税等	895	145
賞与引当金	—	569
その他	3,645	2,634
流動負債合計	10,571	9,554
固定負債		
長期借入金	489	571
株式付与引当金	606	635
役員退職慰労引当金	112	89
退職給付に係る負債	600	607
その他	360	403
固定負債合計	2,168	2,308
負債合計	12,739	11,862

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,538	9,538
利益剰余金	38,878	38,978
自己株式	△3,191	△3,190
株主資本合計	52,292	52,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	369	410
土地再評価差額金	△1,683	△1,683
退職給付に係る調整累計額	131	127
その他の包括利益累計額合計	△1,183	△1,145
非支配株主持分	249	264
純資産合計	51,358	51,513
負債純資産合計	64,098	63,376

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月21日 至平成30年6月20日)
売上高	8,624	8,590
売上原価	5,238	5,278
売上総利益	3,385	3,311
販売費及び一般管理費		
運賃	550	556
貸倒引当金繰入額	1	△1
役員報酬	51	52
給料及び手当	634	654
賞与引当金繰入額	214	222
退職給付費用	33	30
株式付与引当金繰入額	14	14
役員退職慰労引当金繰入額	4	3
その他	1,015	1,028
販売費及び一般管理費合計	2,519	2,561
営業利益	865	750
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	3	3
保険事務手数料	1	1
作業くず売却益	1	4
補助金収入	39	66
固定資産売却益	0	33
その他	41	18
営業外収益合計	91	129
営業外費用		
支払利息	2	2
売上割引	41	44
その他	4	4
営業外費用合計	49	51
経常利益	907	829
特別利益		
補助金収入	45	449
特別利益合計	45	449
特別損失		
固定資産圧縮損	45	449
特別損失合計	45	449
税金等調整前四半期純利益	907	829
法人税、住民税及び事業税	166	170
法人税等調整額	119	159
法人税等合計	286	329
四半期純利益	621	499
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	613	484

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月21日 至 平成29年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年3月21日 至 平成30年6月20日)
四半期純利益	621	499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	40
退職給付に係る調整額	1	△3
その他の包括利益合計	54	37
四半期包括利益	675	537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	667	521
非支配株主に係る四半期包括利益	7	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年3月21日 至平成29年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,613	1,286	7,899	724	8,624
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58	—	58	958	1,017
計	6,672	1,286	7,958	1,683	9,641
セグメント利益	889	87	976	119	1,095

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、運送事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	976
「その他」の区分の利益	119
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△211
棚卸資産の調整額	△1
有形固定資産の調整額	△20
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	865

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年3月21日 至平成30年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,584	1,400	7,984	606	8,590
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57	—	57	935	992
計	6,641	1,400	8,041	1,541	9,582
セグメント利益	655	111	766	125	891

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、運送事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	766
「その他」の区分の利益	125
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△138
棚卸資産の調整額	△0
有形固定資産の調整額	△5
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	750

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。